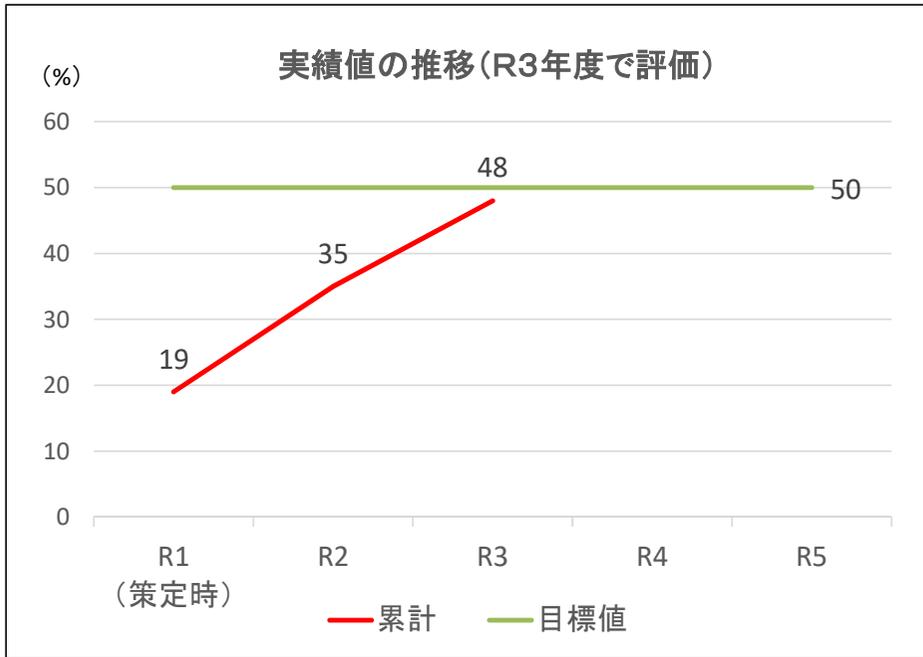


3 熊本地震からの創造的復興

No 30	都市計画課						目標値 (R5)
益城町市街地部の人口回復率		戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	50
		累計	19 %	35	48		

※錯誤により実績値修正



取組状況

- ・「熊本地震からの創造的復興のシンボルとなるまちづくり」を県と町が一体となって取組みを進めた。
- ・県道熊本高森線4車線化事業は、R3年度内に延べ1,819mの歩道が完成した。
- ・木山地区の区画整理事業も、R3年度内に88画地を権利者に引き渡した。
- ・町は、新庁舎や復興まちづくりセンターなどの主要な施設の整備を進め、新しい街並みの形成が進んだ。

課題等

- ・4車線化事業や区画整理事業地内には、商売や事業所等を生業としている権利者が多いため、権利者の生業の継続に特に配慮しながら交渉を進めていく必要がある。
- ・4車線化事業で1割、区画整理事業で2割弱の権利者から各事業に対しての同意を頂けていない状況であるため、今後も引き続き地権者に寄り添いながら丁寧な説明を行っていく必要がある。

今後の方向性

- ・引き続き、権利者に寄り添いながら丁寧な説明を行い、事業への協力を求めていく。
- ・町と連携して、「惣領にぎわい拠点」などのにぎわい作りを進めていく。
- ・早期事業効果発現のため、4車線化事業は、R5年度末までに、熊本市側から惣領交差点付近までの供用を目指し、区画整理事業は、特に被害が大きかった宮園地区を中心に仮換地指定及び造成工事を進め、権利者の生活再建を進めていく。

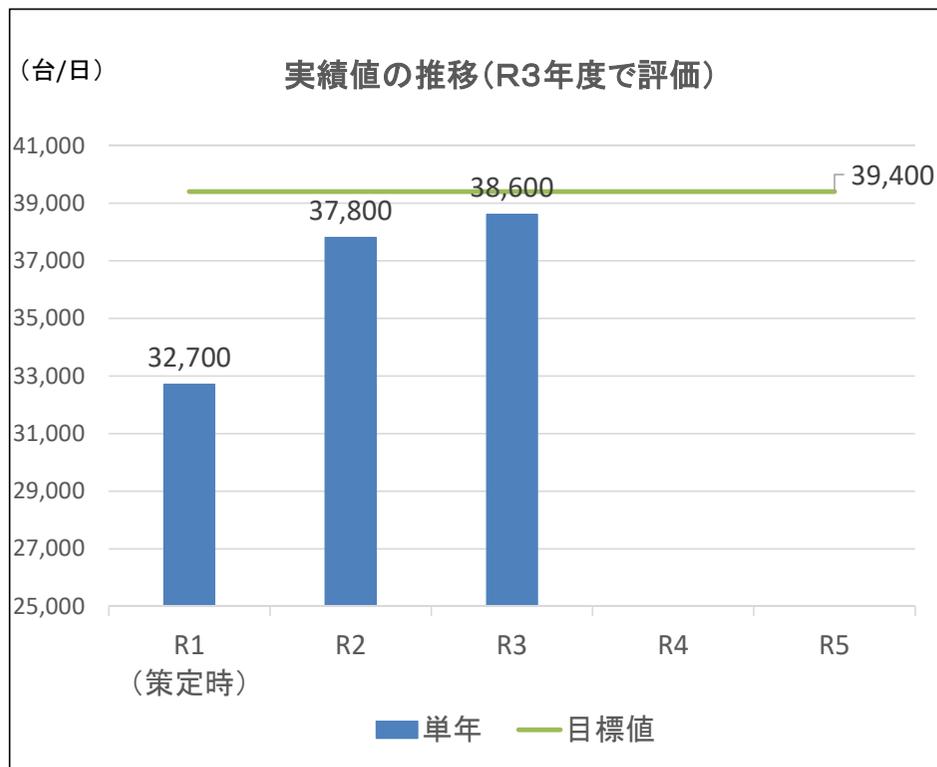
KPI分析シート

<別記様式2>

No	道路整備課・地域振興課・自然保護課・観光企画課
31	

熊本と阿蘇の交通量の回復状況

	戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
単年	32,700 台/日	37,800	38,600			39,400



取組状況

- ・村道栃木立野線がR4年3月に全線復旧し、熊本地震により被災した阿蘇地域へのすべてのアクセス道路が完成した。
- ・国・県・南阿蘇村が連携して数鹿流ヶ滝展望所及び遊歩道を整備し、R3年10月に供用を開始した。
- ・阿蘇地域の観光復興キャンペーン「I'm fine! ASO」を実施し、各種メディアを組み合わせたプロモーションを行うとともに、「竹あかり」等の誘客イベント等を実施した。

課題等

- ・道路整備により、移動時間の短縮、周遊性が向上したため、熊本地震前より広域的な移動を誘い、阿蘇地域全体の活性化につなげていくことが必要。
- ・新阿蘇大橋の開通により地震発生から5年11ヵ月を経て阿蘇地域の幹線道路の復旧は全て完了し、アクセス性の向上により交通量も増加している状況にあるが、コロナ禍での外出自粛等による交通量への影響が考えられる。
- ・コロナ禍において、旅行先として選ばれるためには、新型コロナウイルス感染症の影響により変化する旅行者のニーズを捉えた施策の展開が必要である。
- ・阿蘇くじゅう国立公園への国内外からの来訪者が、新型コロナウイルス感染症や火山活動の活発化などの影響により減少している。

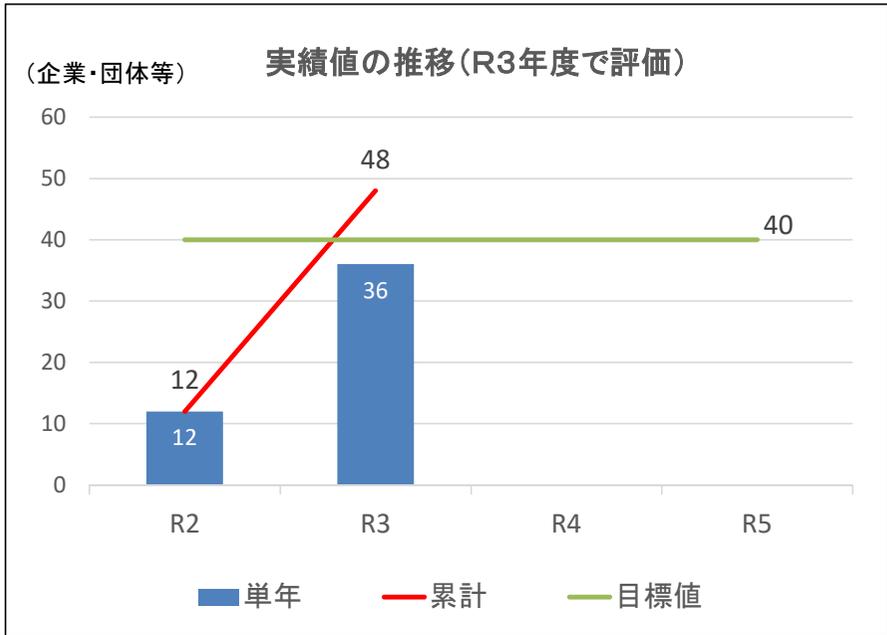
今後の方向性

- ・交通量の回復状況等を引き続き注視していく。
- ・変化する旅行者のニーズを捉えたスマートツーリズムをはじめとする新しい観光スタイルの導入に取り組むとともに、熊本地震震災ミュージアム体験展示施設と阿蘇地域の震災遺構、各種コンテンツとを連携させた回廊型ツアーの造成に取り組み、阿蘇地域への誘客促進につなげる。
- ・阿蘇中岳火口周辺の新たな見学エリアの整備など、関係機関と連携して阿蘇くじゅう国立公園への誘客回復に向けて取り組んでいく。

No	産業支援課
32	

空港周辺における新産業振興策(UXプロジェクト)の取組みに係る企業・団体等の参画数

	戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
単年	— 企業・団体等/年	12	36			—
累計	— 企業・団体等/4年	12	48			40



取組状況

・基本計画・実施計画を策定するとともに、イベントの開催、企業や学生による実証実験等を通じてプレイヤーの集積を図った。

課題等

・更なるプロジェクトの周知や実証実験等の機会提供のほか、ビジネス創出に繋がる支援体制・環境整備が必要である。

今後の方向性

・庁内横断的に連携した社会課題解決型の実証実験に加え、支援体制強化やイノベーションハブの整備等を推進する。